

2022 12

# ナイル

現代短歌ナイル

【今月の歌】

松本豊子、花野真輝  
秋山義仁、井村清美

\*\*\*

ナイルキャンパス／五代目神田伯梅

\*\*\*

天才ギタリスト／ほんだじゅん

\*\*\*

百エーカーの農場を持つよりも／住谷眞

10月号作品批評／宮本史一(心の花)

# NILE CAMPUS

282

伯梅閑話 — 大田区大森 —

小村井敏子（五代目神田伯梅）

東京都大田区は、大森と蒲田の大と田を合わせたのだと聞いている。六代目神田伯龍の実家は、天ぷら屋。芸者が来るような料理屋であった。第二次世界大戦のとき、建物疎開（火よけの空き地を作るため建物を壊す）のため、伯龍の実家は引き倒された。今、第一京浜国道となっている。伯龍の実家、「河内屋」は、大森駅に近い場所に小さくなったが、今もある。建物疎開には、学生が駆り出された。その中に、小沢昭一がいたという。伯龍の仕事で同席する機会があり、小沢昭一本人の口から聞いた。小沢昭一は、蒲田に住んでいたのだった。俳優・エッセイスト・俳人・芸能研究者。TBSのラジオ番組「小沢昭一の小沢昭一的こころ」は、長く続いた。LP七枚組のレコード「日本の放浪芸」は、その資料的価値と共に知られている。今は、埋め立てられて海から離れた大森だが、京浜急行に大森海岸駅があるように、元々は、海岸沿いの漁師町であった。六代目神田伯龍の子供時代、港に漁船が着くと、バケツを持って行ったという。漁師が魚をくれるのだ。

伯龍が、晩年を暮らした鎌倉市腰越は漁師町だ。漁師町の言葉は強い。「渡る世間は鬼ばかり」の岡倉家の主婦、岡倉節子役だった山岡久乃は大森の人。あれは漁師町の言葉の強さだと伯龍は言っていた。子供の頃から鎌倉が好きで、NHKで「日蓮上人」の講談を演じたのがきっかけで、日蓮宗のお寺の仕事が増えた。日蓮宗の寺が多かった鎌倉の仕事も多く、千代夫人が亡くなったとき、日蓮宗の寺に納めた。毎日、朝日に向って、「南無妙法蓮華經」と何度も唱えることから伯龍の一日は始まった。仕事でできないとき以外は、毎日、三十分程度の読経を欠かさなかった。千代夫人が亡くなってからは、千代夫人のための読経だった。朝、お茶をあげ、夕方は日本酒を供えた。その日本酒は、翌朝のご飯を仕込む時に入れていた。